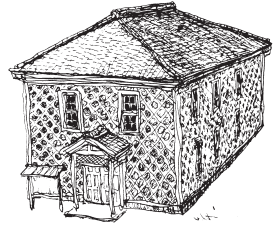


演説館



福澤先生とその門下生たちは、西洋のスピーチ、ディベートを研究し、わが国の「演説」を創始しました。三田演説館は、明治8年に開館した日本最初の演説会堂です。

●環境情報学部長

村井

純

SFC…次の25年への出発

1990年に開設されたSFC（湘南藤沢キャンパス）は2015年に25周年を迎えました。

創設理念の議論からキャンパスの設計や運用に携わってきた方々、キャンパスに集い果立っていった卒業生、25年目の新しい出発を担う現役生、そしてSFCの25年間に支えていただいた全ての人に、心からの敬意を捧げ、感謝したいと思います。

SFCは義塾の未来先導の役割を果たすべく、学際新領域に対する積極的な展開を使命として誕生しました。そのため創立当時から斬新なカリキュラムや教育研究体制に加え、AO入試や9月入学など常識や慣習にとられない新しい制度やシステムの創出に果敢に取り組んできました。25年を経た今、卒業生が日本の新しい力として世界で活躍していることは、SFC四半世紀の誇りであり自信でもあります。

4年前に環境情報学部で開始した、日本語を条件とせず英語による授業のみで学部の卒業が可能なGIGAプログラムは、全く新しい力を持った塾生の入学を実現し、今年最初の卒業生

を輩出します。これを機に総合政策学部でもGIGAが始まり、多様で強力な学生を迎える新しい発展が期待できます。また、調査分析の結果、学部3年終了時に十分な卒業単位を修得している学生が存在することに鑑み、学部3年と修士1年の合計4年で学士と修士を取得するプログラムを開始しました。

都心から離れた郊外のキャンパスであることはすばらしい。開設時に三田会から寄贈された10万本を越える樹木は、その願いと想い通りに日本一美しいキャンパスを彩っています。そして25周年を期して滞在型の「未来創造塾」の建設が開始されました。SFCに集う全ての人がより長い時間をキャンパスで過ごし語らうことは、多様な学びをめざす環境にふさわしい。一方で、地元藤沢のまちづくりを通じて相鉄の湘南台駅からキャンパスへの鉄道の延伸が検討されています。この25年前からの夢は、SFCを発車した列車が日吉、新宿（信濃町）、三田、志木へと到着するという望外の夢に膨らんで現実味を帯びてきました。未来を見つめたSFCの新しい出発が始まりました。